

国際研修センター概要



CENTRE

平成6年

国際協力事業団
研修事業部

000
36
TA

目次

■ 研修員受入事業と国際研修センターの役割 ————— 1

- 研修事業の目的と意義
- 研修事業の特徴
- 研修事業におけるセンター機能の強化
- 国際研修センターの拡充に向けて
- センターごとの分野別実施機能
- 移住研修員受入事業および青年招へい事業とセンターの役割
- 国際研修センターと国内支部の所掌地域

写真に見るセンターの活動

国際研修センター別概要 —————

■ 国際協力総合研修所（ＩＦＩＣ）	6
■ 東京国際研修センター（ＴＩＣ）	8
■ 八王子国際研修センター（ＨＩＴＣ）	10
■ 大阪国際センター（ＯＳＩＣ）	12
■ 名古屋国際研修センター（ＮＩＴＣ）	14
■ 筑波インターナショナルセンター（ＴＢＩＣ）	16
■ 筑波国際農業研修センター（ＴＩＡＴＣ）	18
■ 神奈川国際水産研修センター（ＫＩＦＴＣ）	20
■ 兵庫インターナショナルセンター（ＨＩＣ）	22
■ 九州国際センター（ＫＩＣ）	24
■ 沖縄国際センター（ＯＩＣ）	26

■ 資料 ● センター・支部所管別研修員ブリーフィング・オリエンテーション・ 日本語集中講座実施場所（基本パターン）	28
● 研修員受入事業関係組織図	
● 国際研修センターの規模一覧	

*センター別の事業実績については、別冊の「事業実績表」に記載されています。

研修員受入事業と国際研修センターの役割

研修事業の目的と意義

国際協力事業団（JICA）は、相手国政府の要請に基づく開発途上国からの技術研修員の受入事業を実施しています。

この研修事業の目的は、「開発途上国の社会・経済開発に資する人材開発に協力すること」であります。各国からの研修員は、日本各地にあるJICAの国際研修センターを拠点に大学や研究機関、病院、企業等でさまざまな分野の専門的な知識や技術を身につけ、帰国後、自国の社会や経済の発展に大きな役割を果たしています。

また、この研修事業を通じて、結果的に「知日家・親日家が育成されること」にも大きな意義があります。平成6年3月末日現在、58カ国で帰国研修員の同窓会が結成されています。

研修事業の特徴

研修事業は裾野の広い事業です。事業の実施にあたっては、JICA関係者のほか、関係各省庁、研修員受入先、研修監理員、日本語講師、旅行会社・ホテルの関係者、センターの食堂など各種施設運営に携わる関係者、NGO、地域住民の方々など、じつに多くの人々の協力と参加を得て行われています。

また、研修事業の地域的展開を見ても、国民参加型の国際協力の推進、地域の国際化と活性化とも相まって現在、11カ所にセンターが設置され、事業が全国的に展開されています。

このように全国各地域の人々の理解と参加を得て事業が展開されることから、多様な技術の移転と研修員との友情・信頼関係の構築が可能となっています。

研修事業におけるセンター機能の強化

JICAにおいては、途上国の国別人材開発ニーズに沿って、研修事業の質の向上と量の拡大を図るため、

本部（研修事業部）における国別アプローチの強化（国別の研修計画機能の強化）とセンターにおける分野別研修実施機能の強化を事業実施上の基本方針としています。

この基本方針に基づき、平成元年度より3年度にわたる3カ年において、本部が実施してきた集団研修コースおよび一般特設コースを順次センターに移管しました。また、平成3年度においては、本部機構を分野別体制から国別体制に改編し、国別アプローチおよび国別事業一貫管理体制の強化を図りました。さらに、平成6年度においては残されていた個別研修実施業務をセンターに移管することとしました。

これにより、センターはすべての研修の一元的な実施機関となり、研修実施計画の作成、実施業務、進捗管理および評価に至る一貫した業務を行ないます。また、研修の実施に関するさまざまなノウハウを蓄積することにより、新規の研修の開発等により重要な役割を果たすことが求められています。

国際研修センターの拡充に向けて

平成6年に開設された大阪国際センターは、規模が拡大されたのみならず、西日本における国際協力の拠点として多機能化のための各種機能が付与され、特に質の高い日本語研修の実施体制が整いました。

上記に鑑み、研修事業の均衡のとれた地方展開を図りつつ、事業の質を向上させる方策の一環として平成5年度までは東京国際研修センターにおいて実施されていた日本語集中講座、ブリーフィングおよびオリエンテーションの一部が当センターに移管されました。

JICAでは、研修事業の地方展開を一層促進べく、平成7年度には北海道国際センター（仮称）として札幌と帯広の2カ所に研修所を開設する予定であり、さらに翌8年度には広島国際センター（仮称）の開設を計画しています。

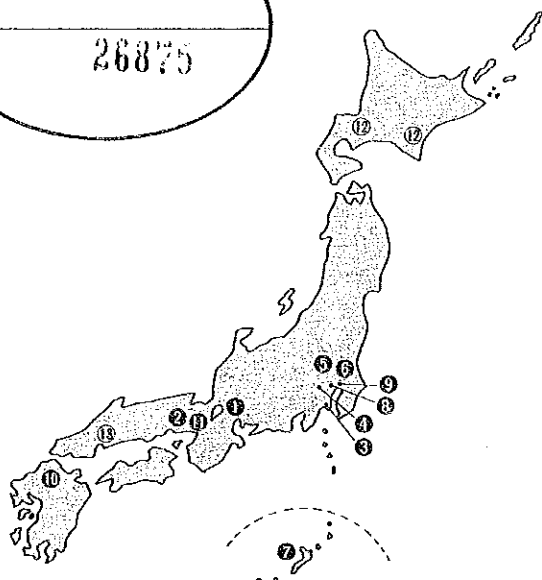
JICA LIBRARY



1116063171

国際協力事業団

26875



国際研修センターの拡充（開設順）

- ①名古屋国際研修センター
【名古屋市・S.46.3】
- ②兵庫インターナショナルセンター
【神戸市・S.48.8】
- ③神奈川国際水産研修センター
【横須賀市・S.49.4】
- ④八王子国際研修センター
【八王子市・S.51.6】
- ⑤筑波インターナショナルセンター
【つくば市・S.55.3】
- ⑥筑波国際農業研修センター
【つくば市・S.56.4】
- ⑦沖縄国際センター
【浦添市・S.60.4】
- ⑧東京国際研修センター
【東京都・S.60.6】
- ⑨国際協力総合研修所
【東京都・S.63.1】
- ⑩九州国際センター
【北九州市・H.元.10】
- ⑪大阪国際センター
【茨木市・H.6.10】
- ⑫北海道国際センター（仮称）
【札幌市・帯広市・H.7.12竣工予定】
- ⑬広島国際センター（仮称）
【東広島市・H.9.3竣工予定】

センターごとの分野別実施機能

各センターにおいてはそれぞれの分野別特性について、地域特性・施設特性・専門技術の3点を総合的に勘案して、分野別の特色づくりに努めています。現在、それぞれのセンターが検討中の分野別の特性は次のとおりです。

国際協力総合研修所	筑波インターナショナルセンター
●民主化支援 ●グローバル 이슈	●研究開発
東京国際研修センター	筑波国際農業研修センター
●総合 ●行政 ●公益事業 ●放送 ●電気通信 ●エネルギー	●農業
八王子国際研修センター	神奈川国際水産研修センター
●職業訓練 ●犯罪防止 ●環境・自然保護	●水産
大塚国際センター	兵庫インターナショナルセンター
●総合 ●公益事業 ●文化 ●保健医療 ●経営管理 ●自治体行政 ●中小企業 ●環境	●貿易 ●輸出入食品検査 ●バイオテクノロジー
名古屋国際研修センター	九州国際センター
●中小企業 ●環境（産業系） ●工業 ●電気通信 ●産業技術	●産業技術 ●環境（産業系） ●保健医療 ●エネルギー
	沖縄国際センター
	●情報処理 ●視聴覚 ●熱帯農業 ●保健医療

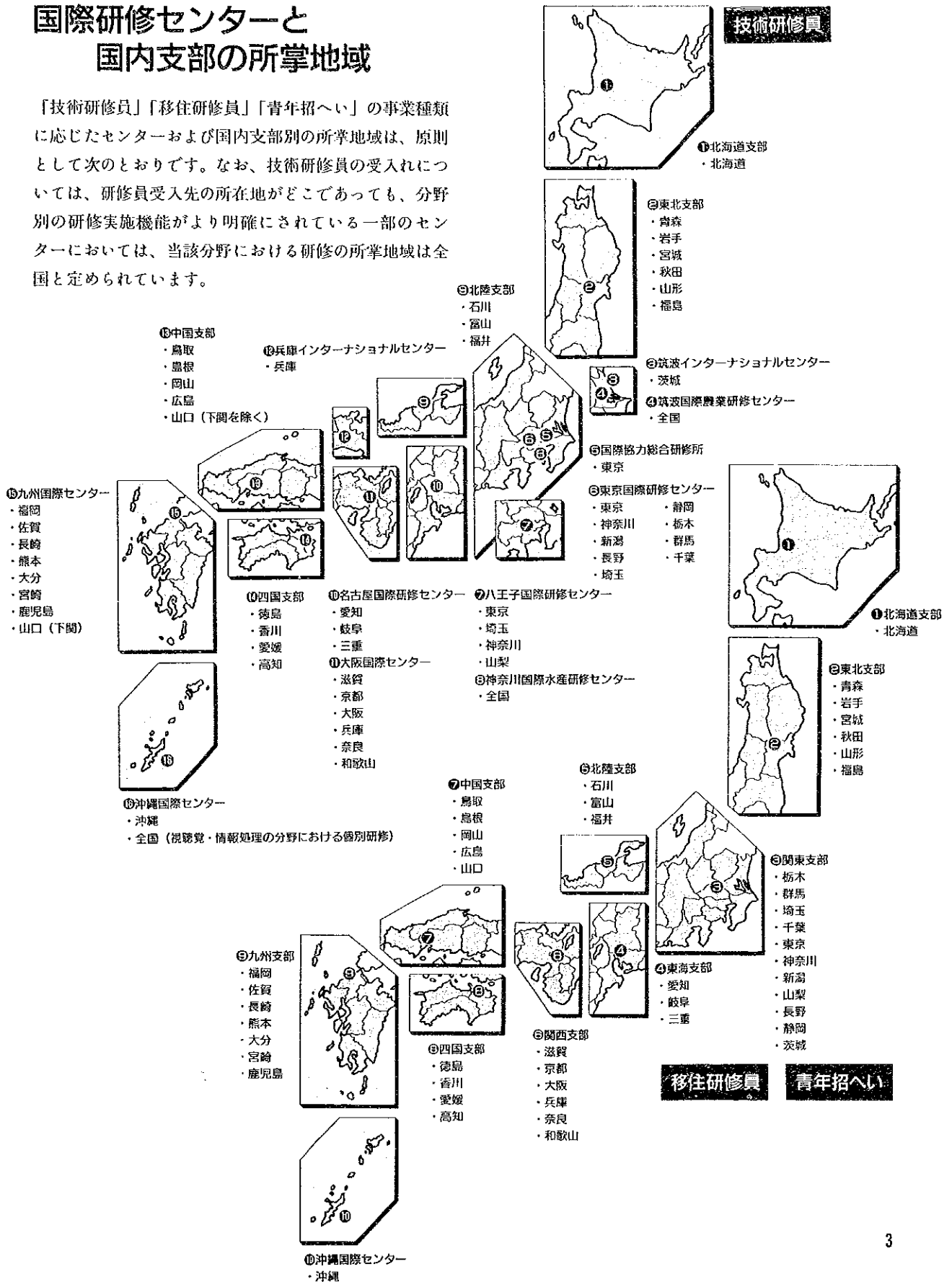
移住研修員受入事業および青年招へい事業とセンターの関わり

かねてより全国各地域の人々の参加と理解を得て地方展開されている「21世紀の友情計画」に基づく青年招へい事業においても、招へい青年と地域住民の交流の拠点、あるいはより快適な生活の場としての研修センターの活用を促進中です。

平成6年度より研修事業部において実施することになった移住研修員の受入れについても、より適正な研修環境を提供するために研修センターの活用が望まれています。

国際研修センターと 国内支部の所掌地域

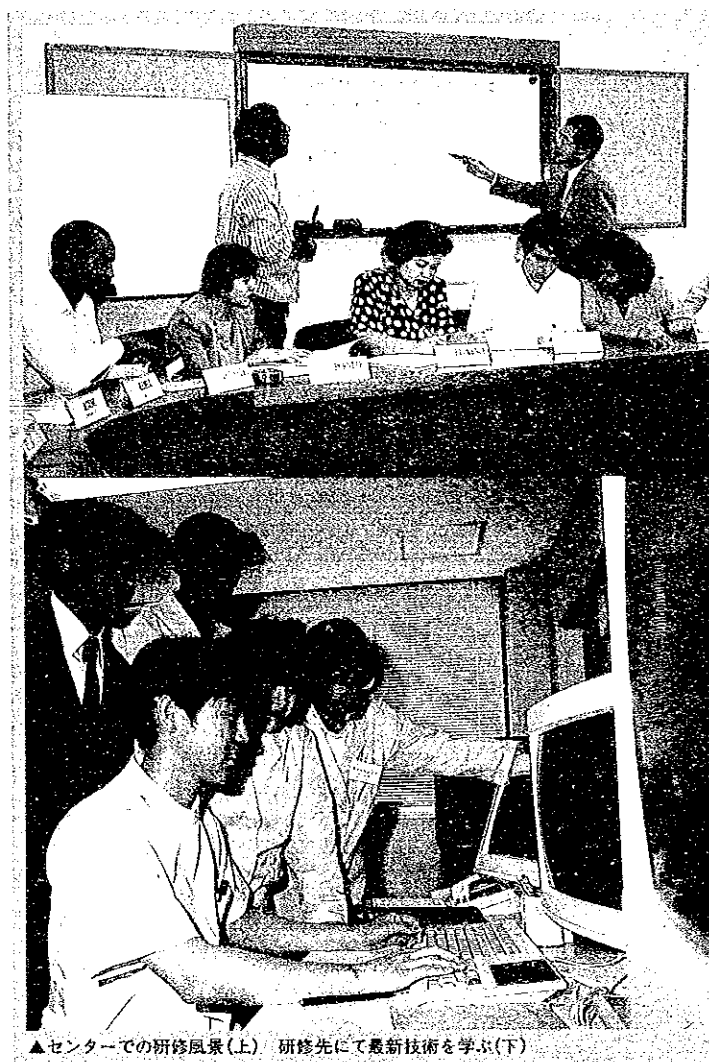
「技術研修員」「移住研修員」「青年招へい」の事業種類に応じたセンターおよび国内支部別の所掌地域は、原則として次のとおりです。なお、技術研修員の受入れについては、研修員受入先の所在地がどこであっても、分野別の研修実施機能がより明確にされている一部のセンターにおいては、当該分野における研修の所掌地域は全国と定められています。



センターを拠点に豊かな糧を求めて

研修員にとってセンターは、技術研修を受けるための重要な拠点であり、同時に滞日生活を快適に過ごすための心安らぐ場です。センターのアットホームな雰囲気が彼らの異国での緊張を解き、研修員同士の心の交流を深めます。彼らはここをホームベースとして周辺の研究機関や大学等に通いながら最新の専門技術を身につけます。

センター内では日本語の授業を受けたり、図書室で自習したりと忙しい日課ですが、ロビーやラウンジはいつも談笑に満ちており、とりわけセンターで催されるイベントを通じて日本文化を肌で知ったり、地域住民の人たちと国際親善を図るのは彼らの楽しみのひとつです。



▲センターでの研修風景(上) 研修先にて最新技術を学ぶ(下)



▲餅つき大会

▶着物ショー





▲真剣な目——来日時のブリーフィング



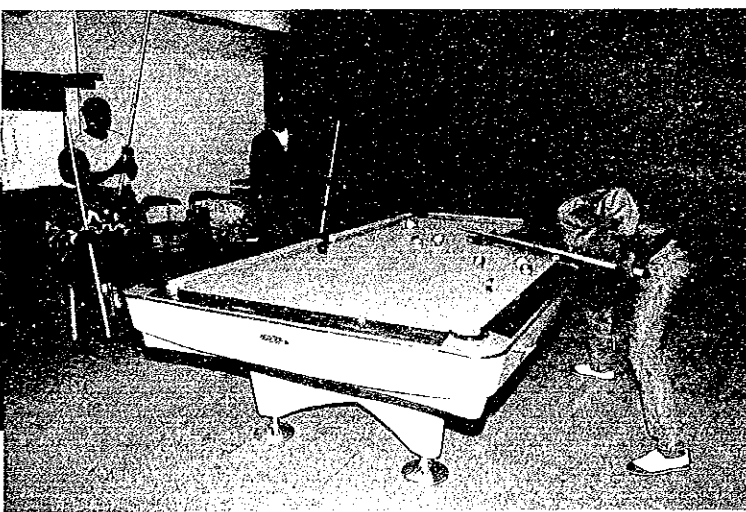
▲美地研修の一コマ



▲図書室にて



▲野立て(上) 健康管理室にて(下)



▲ビリヤードを楽しむ

国際協力総合研修所

Institute for International Cooperation (IFIC)

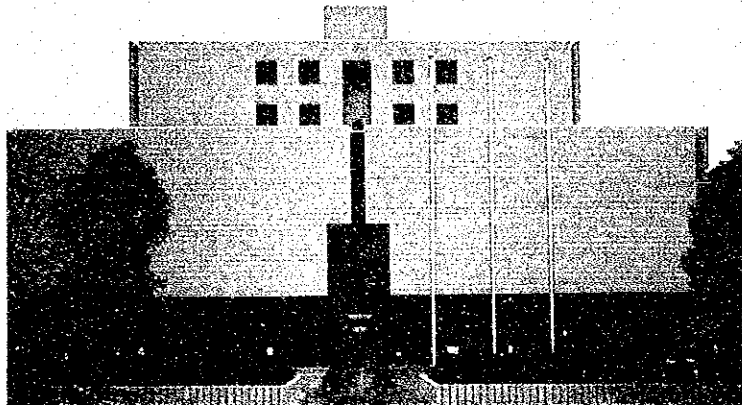
1. 所在地

〒162 東京都新宿区市谷木村町10-5

TEL. 03-3269-2911(受付台)

03-3269-3022(業務課直通)

FAX. 03-3269-2054



2. 沿革および特色

国際協力総合研修所は、技術協力基盤の拡充強化と一層の効率的実施のため、国際協力事業団により1983年に設置され、次のような事業を実施しています。

1) 技術協力に携わる人材の確保や養成および開発途上国の指導者層に対する研修

2) 技術移転に関する調査・研究

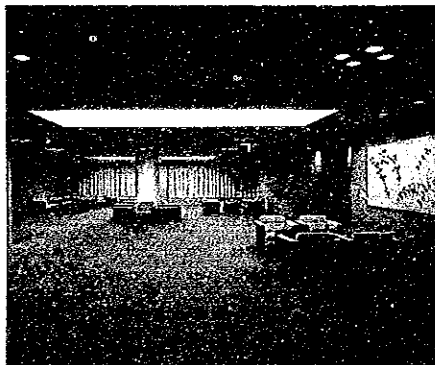
3) 国際協力に関する資料の整備・提供

また近年は、効率的・総合的協力実施のため、国内の学識経験者等による研究会を設置し、国別援助研究や分野別研究も進めています。あわせて、海外の開発専門家を招へいし、技術移転の手法や人造り協力などに関する研修・研究にも力を入れています。技術情報については、図書館の充実に努める一方、技術協力専門家に対する技術情報支援体制の強化、他の援助国や国際機関との情報協力も進めています。

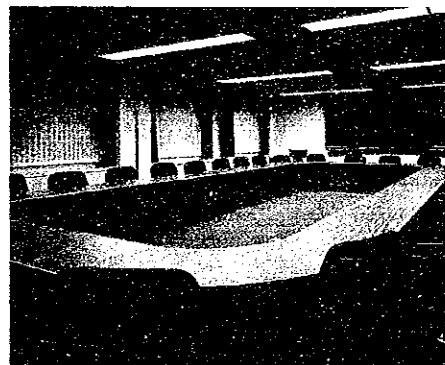
3. 組織

所長	人材養成課……専門家等人員の養成・確保、国際協力専門員、ジュニア専門員等の監理、宿泊、研修施設の運営管理
	業務課……内外技術者の研修の計画・実施
	調査研究課……技術移転に関する調査研究、技術移転に関する会議・セミナーの実施
	技術情報課……技術移転に関する情報資料の収集・整備・提供、図書館の運営

4. 施設



ラウンジ (国際会議場前)



セミナー室

1) 建物規模

敷地面積 3,892㎡
建築面積 2,318㎡
延床面積 11,303㎡
(地下1階、地上6階、塔屋1階)

2) 宿泊可能人員 80名

シングルルーム (18.00㎡) 60室
ツインルーム (36.00㎡) 10室
(各室バス・トイレ、テレビ付)

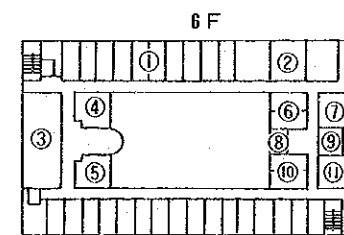
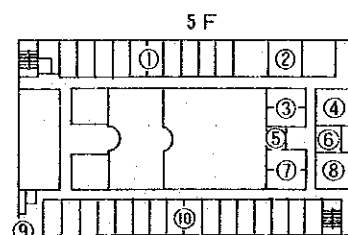
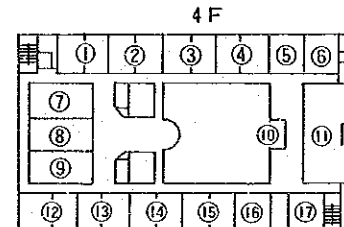
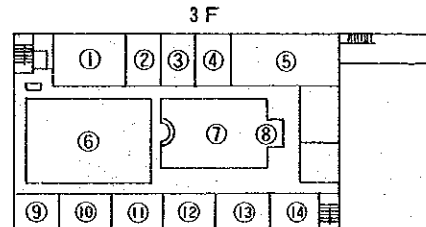
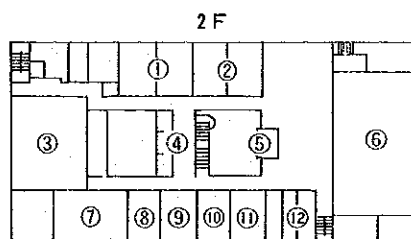
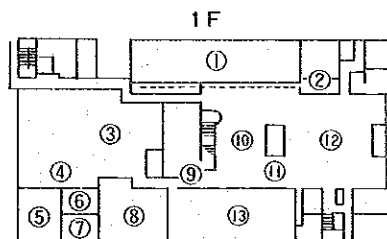
3) 研修施設 (共用)

国際会議場 1室
セミナー室 5室
研修室 (大、中、小) 22室

4) その他

事務室、講師および研修監理員室、談話コーナー、タイプ室、レクリエーション室、(共用施設)国際会議場1室、ビデオ視聴覚室、図書館、会議室、食堂、ロビー、ラウンジ、駐車場 他

5. 本研修所案内図

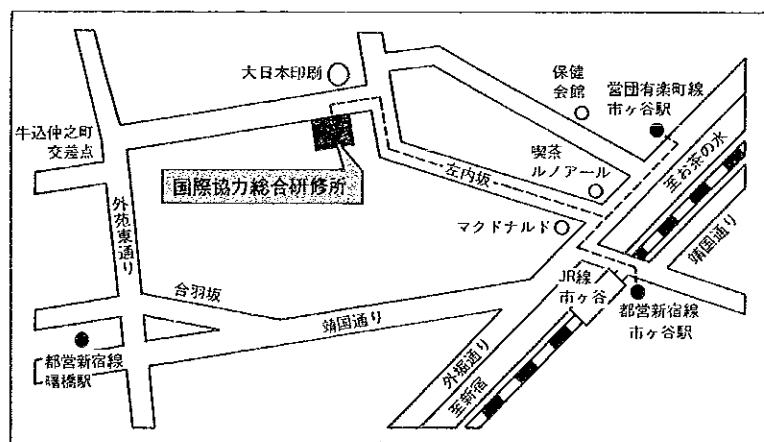


- 1F
①駐車場 ②フロント ③書庫
④ビデオコーナー ⑤重要書庫
⑥OA機器室 ⑦コンピュータ室
⑧図書資料室 ⑨広報展示室
⑩センターホール ⑪エレベーター
⑫エントランスロビー ⑬閲覧室
- 2F
①②セミナールーム ③食堂
④喫茶コーナー ⑤エレベーター
⑥国際会議場 ⑦和室
⑧特別会議室
⑨会議室 (2) ⑩会議室 (1)
⑪フリーフィンク室 ⑫会議室
- 3F
①⑤国際協力総合研修所事務室
②⑥⑩国際協力専門員室
③応接室 ④所長室
⑦センターコート ⑧エレベーター
⑨パソコンルーム
⑩研修用パソコンルーム
⑪視聴覚教材作成室 ⑫研修室
- 4F
①⑤専門家赴任相談室
②③④研修室 ⑥託児室
⑦⑧⑨研修室 ⑩エレベーター
⑪専門家研修管理室
⑫⑬⑭⑮研修室
⑯専門家研修講師室
⑰ロッカー室
- 5F
①③シングルルーム
②④ツインルーム
⑤エレベーター ⑥フロント
⑦シングルルーム ⑧ツインルーム
⑨ランドリー ⑩シングルルーム
- 6F
①シングルルーム ②ツインルーム
③レクリエーションルーム
④研修室6A ⑤研修室6B
⑥シングルルーム ⑦ツインルーム
⑧エレベーター ⑨タイプ室
⑩シングルルーム ⑪ツインルーム

6. 研修所周辺地図

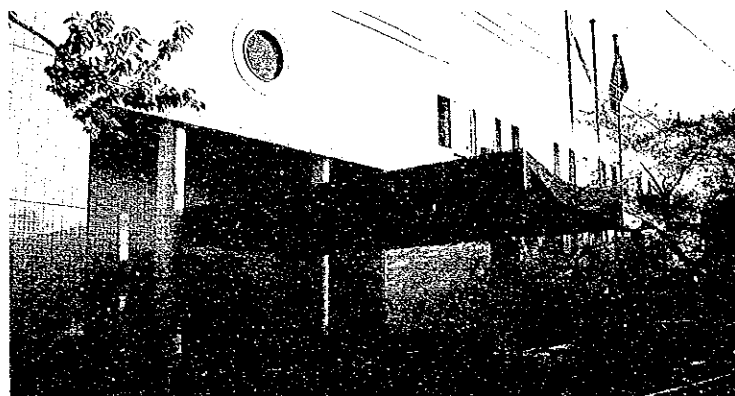
交通:

- JR中央線「市ヶ谷駅」: 徒歩 10分
- 営団有楽町線「市ヶ谷駅」保健会館出口
またはA1-4番出口: 徒歩 10分
- 都営新宿線「市ヶ谷駅」
A1-4番出口: 徒歩 10分
- 都営新宿線「曙橋駅」A3出口: 徒歩 12分



東京国際研修センター

Tokyo International Centre (TIC)



1. 所在地

〒151 東京都渋谷区西原 2-49-5

TEL 03-3485-7051 (代表)

FAX 03-3485-7904

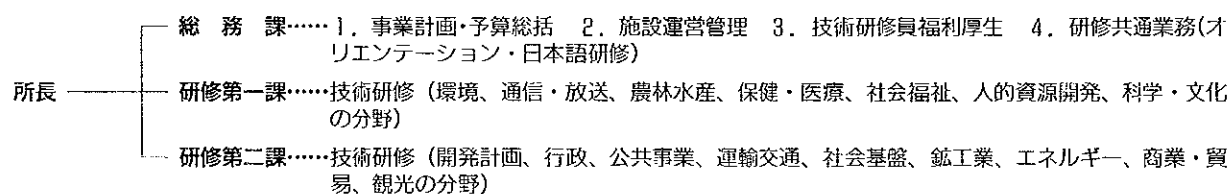
2. 沿革および特色

本センターは、近年の研修員受入事業の拡大化の趨勢に対応するために、461名を収容できる宿泊施設と多数のセミナー室等を備えた大型センターとして、都心部に昭和60年6月に開所されました。

爾来、研修員に対するブリーフィング、オリエンテーション、日本語研修、福利厚生業務の実施および宿泊施設としての機能を果たしてきましたが、新たに昭和63年4月から、従来本部が所管していた集団研修コースの移管が行われ、現在は集団研修140コースを実施しています。本センターの集団研修コースの多くがそれぞれ省庁と密接に関係しており、研修期間が数カ月のセミナー形式のコースが中心となっています。

また、本センターでは、平成6年4月から、従来本部が所管していた個別研修の一部が移管され、個別・分野別特設コース、特別案件、カウンターパート研修等多様な形態の研修を実施しています。

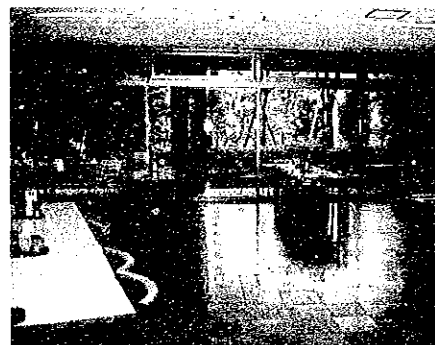
3. 組織



4. 施設



ロビー



食堂

敷地面積 10,013m²、
建築面積4,027m²、延床面積18,868m²

本館(管理研修棟)、宿泊棟および講堂兼体育館からなり、本館(管理研修棟)は鉄筋コンクリート4階建、宿泊棟は10階建
シングルルーム(15.9㎡)437室、ツインルーム(31.3㎡)127室、(各室バス・トイレ、テレビ・電話付)

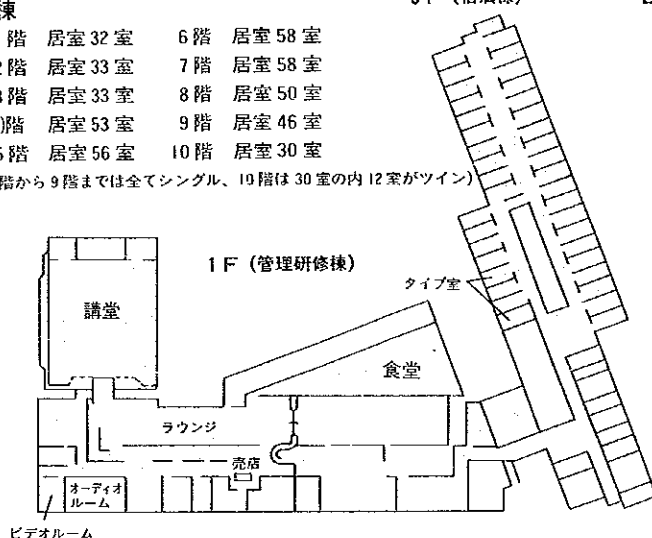
講堂、ブリーフィングルーム、カウンセラールーム、オリエンテーションルーム、セミナールーム(小)3室(内1室は宿泊棟)セミナールーム(中)16室、セミナールーム(大)2室、講師控室、図書資料室、会議室

ロビー、ラウンジ、食堂、ビリヤードコーナー、ビデオルーム、オーディオルーム、研修監理員室、日本語講師室、タイプ室、集会室、駐車場（23台）

宿泊棟

1階	居室32室	6階	居室58室
2階	居室33室	7階	居室58室
3階	居室33室	8階	居室50室
LB(4)階	居室53室	9階	居室46室
5階	居室56室	10階	居室30室

3 F (宿泊棟)



2) F (管理研修棟)

宿泊棟への渡り廊下

玄関ロビー

カウンセラー室

フリーイングルーム

セミナールーム

会議室

日本語講師教室

研修監理員教室

日本語教材開発室

セミナールーム

2 3 4 5 6 7

所長室 応接室 事務室

8 講義控室 事務室

9 10 11 12 13 集会室

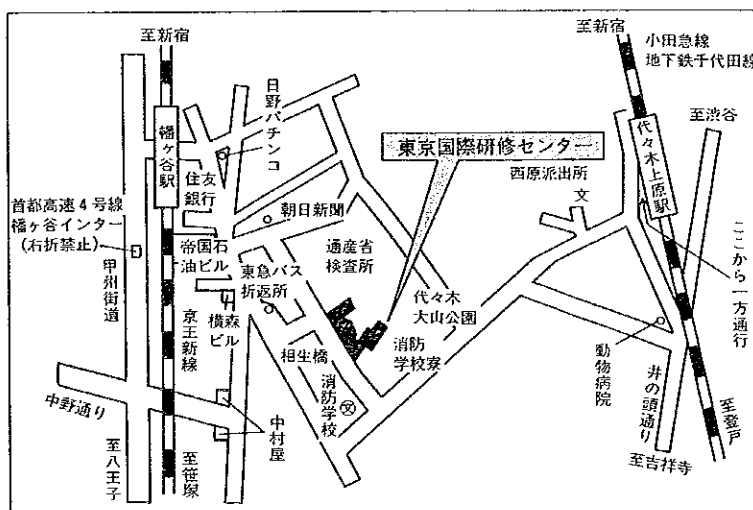
オリエンテーションルーム

14 15 セミナールーム 16

20

セミナールム21は宿泊棟5階

- 地下鉄千代田線・小田急線「代々木上原駅」
北口出口（西原1〜3丁目方面）：徒歩約10分
- 京王新線「幡ヶ谷駅」
南口出口（西原1・2丁目方面）：徒歩約7分
- 東急バス「渋谷駅」～「幡ヶ谷」、約25分、
「幡ヶ谷」下車：徒歩約3分



八王子国際研修センター

Hachioji International Training Centre (HITC)

1. 所在地

〒192 東京都八王子市暁町 2-31-2

TEL. 0426-26-5411 (代表)

FAX. 0426-26-9954



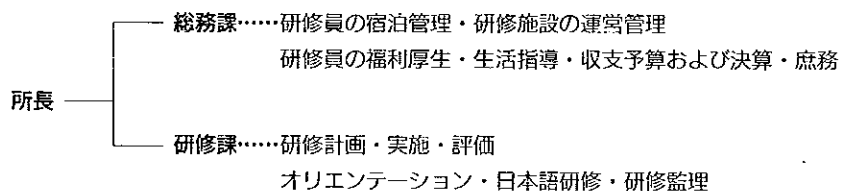
2. 沿革および特色

本センターは、昭和51年6月、わが国の開発途上国に対する技術協力事業の拡大、とりわけ研修員受入数の増大に伴い、学園都市八王子とその近隣地域において研修を行う研修員のための研修ならびに生活の拠点として設立されました。

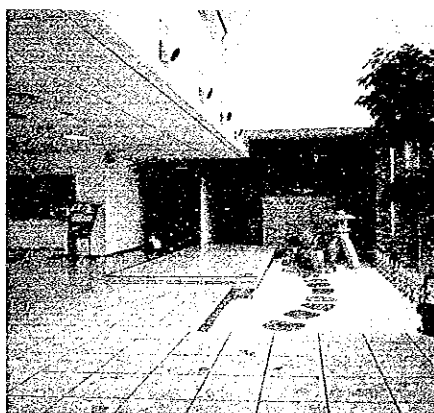
本センターは毎年70カ国以上の国々から約400名の研修員を受け入れています。

研修内容は、多岐にわたる行政分野のセミナー形式による高度な研修、職業訓練を中心とする長期技術研修コース、ハイテク等研究的性格のコース等で関係諸機関の協力のもとに幅広い研修活動を行っています。

3. 組織



4. 施設



ロビー



ラウンジ

1) 建物規模

敷地面積 5,240㎡ 建築面積 1,630㎡
別館 建床面積180㎡ 構造 RC3階建
延床面積 4,767㎡ 別館 延床面積 537㎡

2) 宿泊可能人員 100名

居室 97室 シングルルーム (15.26㎡) 94室、

ツインルーム (30.52㎡) 3室 (各室バス・トイレ付)

3) 研修施設

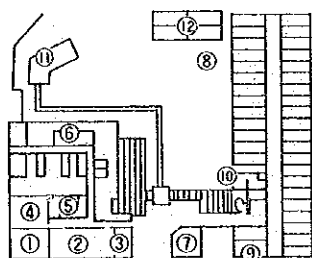
セミナールーム9室、図書室、講師控室

4) その他

フロント、食堂、ロビー、ラウンジ、ステレオ室、健康相談室、スポーツルーム、プール、テニスコート

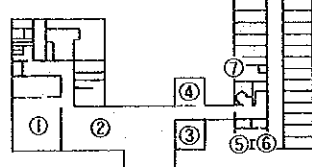
5. センター案内図

1F



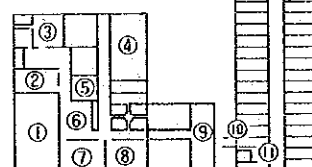
- ①所長室
- ②事務室
- ③フロント
- ④会議室
- ⑤プリント室
- ⑥機械室
- ⑦ロビー
- ⑧池
- ⑨湯沸室
- ⑩洗濯室
- ⑪プール
- ⑫テニスコート

2F



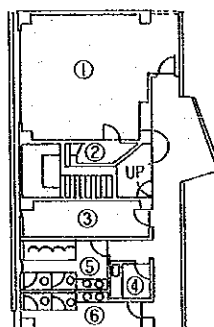
- ①食堂
- ②ラウンジ
- ③図書室
- ④ステレオ室
- ⑤TBS事務所
- ⑥湯沸室
- ⑦洗濯室

3F



- ①セミナールーム1
- ②セミナールーム2
- ③コンピュータールーム
- ④講師室
- ⑤中庭
- ⑥ロビー
- ⑦セミナールーム5
- ⑧セミナールーム4
- ⑨スポーツルーム

別館

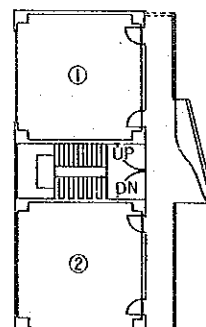


1F

- ①事務室
- ②電気室
- ③作業室
- ④湯沸室
- ⑤男子トイレ
- ⑥女子トイレ

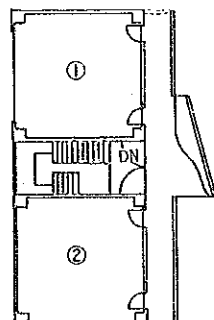
2F

- ①セミナールーム6
- ②セミナールーム7



3F

- ①セミナールーム8
- ②セミナールーム9



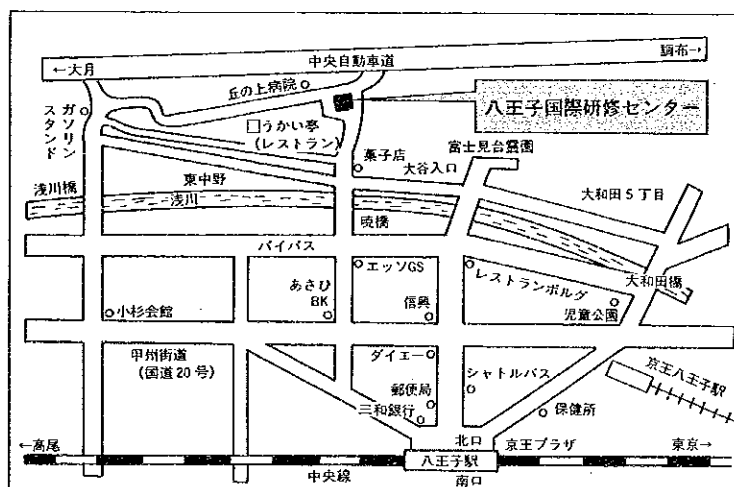
6. センター周辺地図

交通:

■ JR中央線「八王子駅」下車 バス: 北口のりば 中野循環 ②大和田経由 ③八日町経由「暁橋」で下車

■ 京王線「京王八王子駅」下車 バス: 道路をはさんで向かい側のバス停 中野循環 大和田経由「暁橋」で下車

■ JICAシャトルバス: 八王子駅北口の三井リハウス前より9:00と9:15発



大阪国際センター

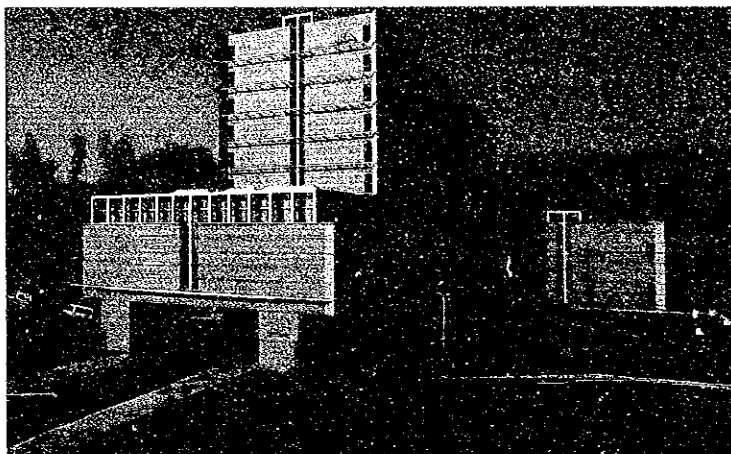
Osaka International Centre (OSIC)

1. 所在地

〒567 大阪府茨木市西豊川町25-1

TEL. 0726-41-6900 (代表)

FAX. 0726-41-6910

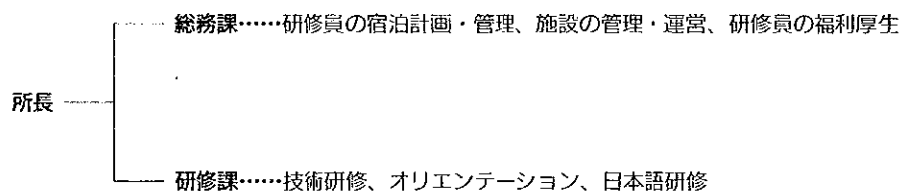


2. 沿革および特色

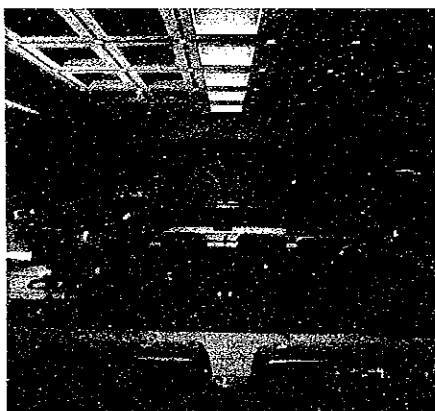
本センターは、その前身である昭和42年に設立された大阪国際研修センターから、近年の開発途上国の研修員受入人数増加ならびに研修内容の高度化、多様化に対応するため、平成6年4月、大阪国際センターと改称し、300名を収容できる宿泊施設と多数のセミナー室を備えた施設として現在地に移転、拡充されました。

本センターは、関西地方における特色ある研修員受入事業を拡大するとともに、他センター、支部所管コースを含めたオリエンテーション、日本語研修の実施を展開し、併せて各種団体へのODA関連などの情報提供を予定しています。

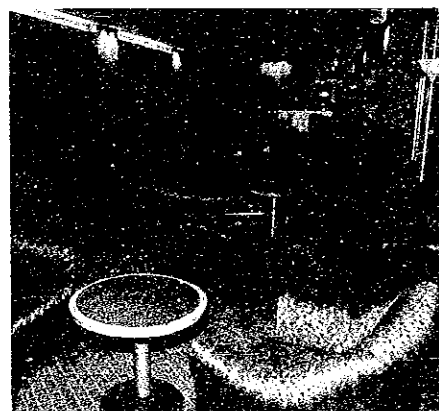
3. 組織



4. 施設



国際会議室



ラウンジ

鉄筋コンクリート9階建（宿泊棟）

敷地面積 11739.09m²

建築面積 5069.75m²

延床面積 16468.151m²

2) 宿泊可能人員 300名

シングルルーム(18.0㎡)280室、ツインルーム(36.0㎡)10室

(各室バス・トイレ、テレビ、電話付)

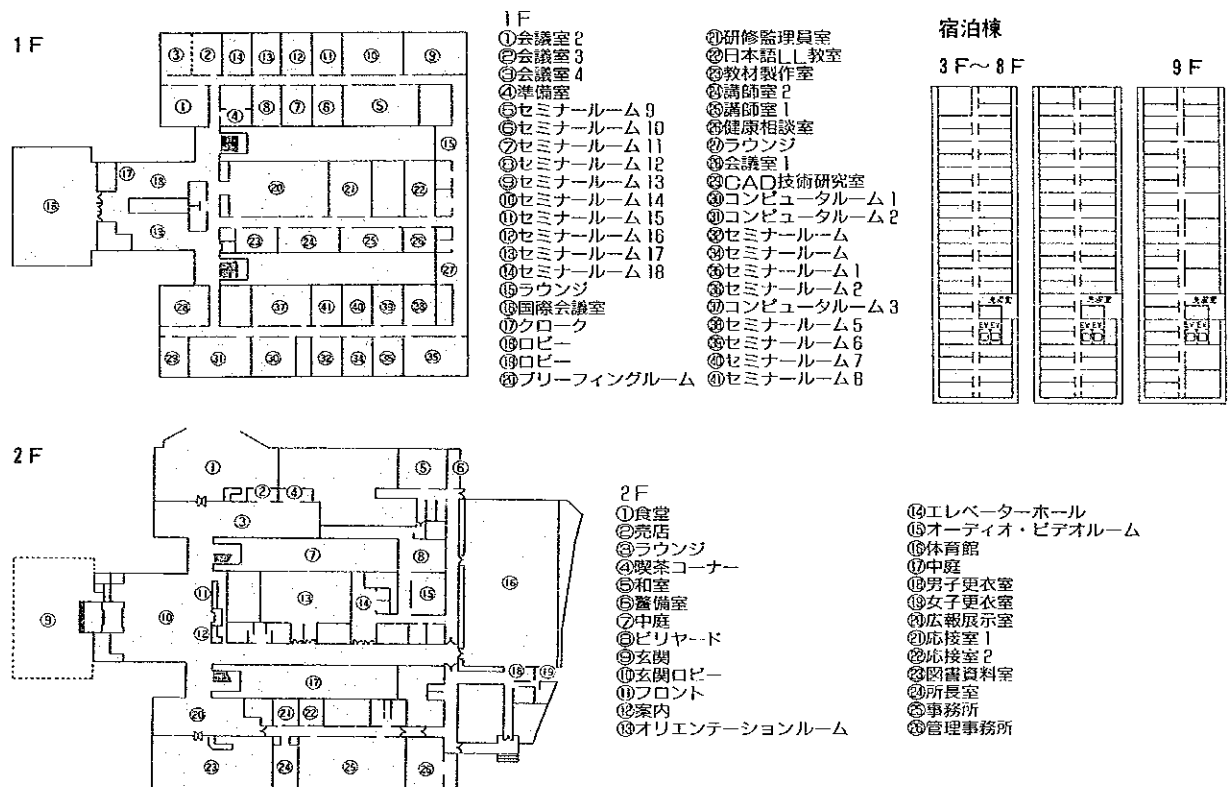
3) 研修施設

ブリーフィング室、オリエンテーション室、セミナー室18室、国際会議室、コンピュータ室4室、日本語LL教室、図書資料室、会議室4室

4) その他

図書室、受付、食堂、体育館、テニスコート他

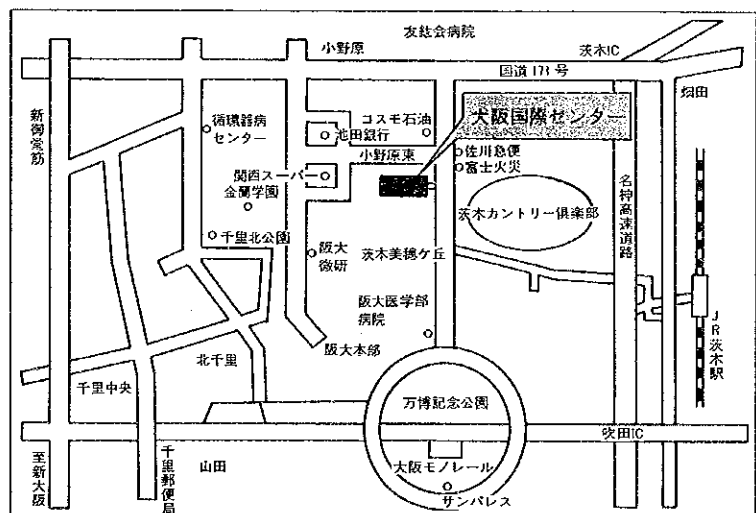
5. センター案内図



6. センター周辺地図

交通：

- 新大阪より地下鉄で 15 分、「千里中央駅」より阪急バスで 15 分、阪大医学部病院前から徒歩 15 分
- 「阪急茨木市駅」より近鉄バスで 15 分、JR「茨木駅」より近鉄バスで 20 分、阪大医学部病院前から徒歩 15 分
- 「千里中央駅」より阪急バスで 10 分、小野原東から徒歩 10 分



名古屋国際研修センター

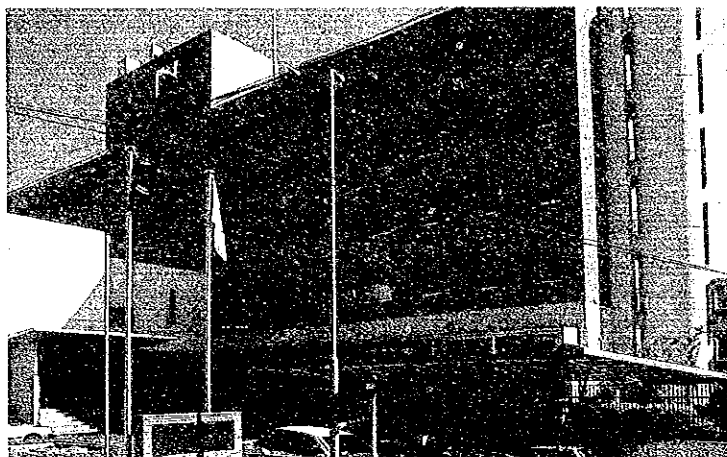
Nagoya International Training Centre (NITC)

1. 所在地

〒465 愛知県名古屋市名東区亀の井2-73

TEL. 052-702-1391

FAX. 052-702-1397

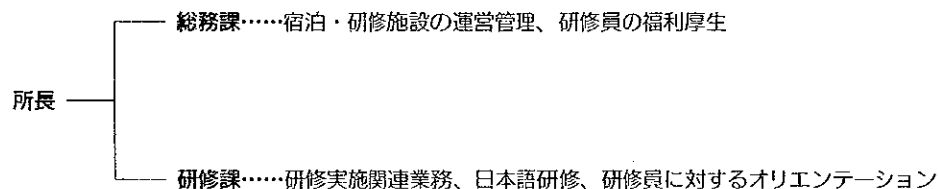


2. 沿革および特色

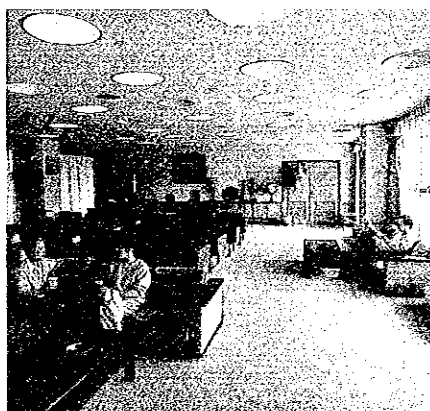
本センターは昭和36年、当時政府ベースによる技術協力の実施機関であった社団法人アジア協会の国内研修センターとして名古屋市千種区に設立されたのに始まります（当時収容人員45名）。その後、研修員受入数が年々増大し、これに対応するため、当事業団設立前の海外技術協力事業団時代の昭和46年3月、現在地に移転、拡充されました。

本センターは、中京工業地帯に位置し、恵まれた立地条件から工業分野を中心として、地元関連機関の協力のもとに地場産業に根ざした研修コースが多く、セラミックス、機械金属、養鶏、繊維機械、中小企業コース等に特色があります。

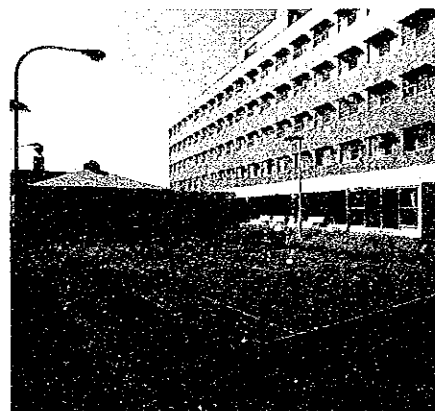
3. 組織



4. 施設



ラウンジ



テニスコート

1) 建物規模

鉄筋コンクリート 5 階建

敷地面積 3,305㎡

建築面積 1,325㎡ 延床面積 3,768㎡

2) 宿泊可能人員100名

シングルルーム (9.18㎡) 92室、ツインルーム (18.36㎡) 3室、

(各階シャワー・トイレ共同)

3) 研修施設

教室 7 室、講堂、図書室、タイプ室、視聴覚室

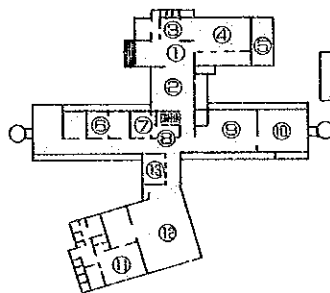
4) その他

フロント、ロビー、ラウンジ、食堂、和室、講師控室、日本語講師室、体育室、健康管理室、テニスコート他

5. センター案内図

本館

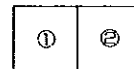
1 F



- ①玄関ホール
- ②ロビー
- ③受付
- ④事務室
- ⑤所長室
- ⑥教室
- ⑦講師控室
- ⑧タイプ室
- ⑨ラウンジ
- ⑩体育室
- ⑪厨房
- ⑫食堂
- ⑬手洗所
- ⑭附属研修別棟

附属研修棟

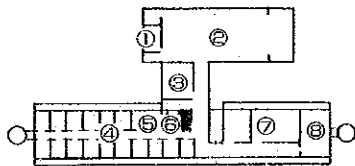
1 F



2 F



2 F



- ①映写室
- ②講堂
- ③和室
- ④シングルルーム (14)
- ⑤手洗所
- ⑥シャワー室
- ⑦教室
- ⑧図書室

- ①日本語講師室
- ②健康管理室
- ③視聴覚教室
- ④(財)日本国際協力センター詰所

3 F

4 F

5 F

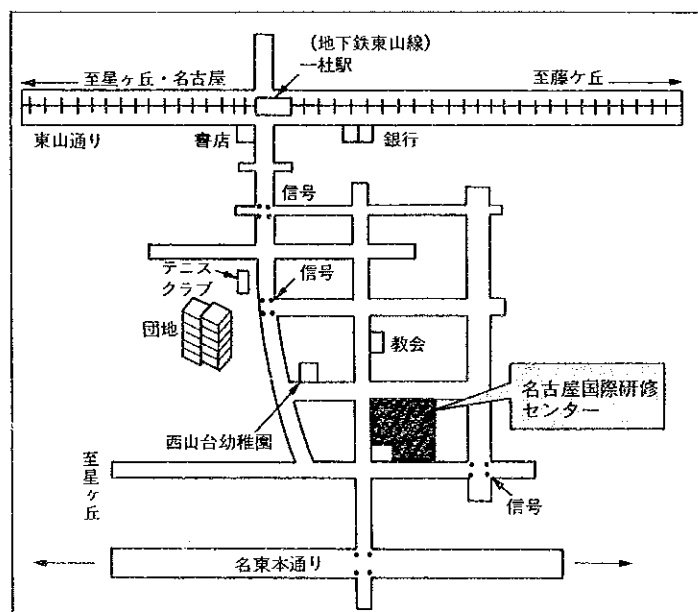


- 共通①手洗所
- ②シャワー室
- 3階 シングルルーム (28)
- 4階 ツインルーム (1)
- シングルルーム (25)
- 5階 ツインルーム (2)
- シングルルーム (25)
- 塔屋 洗濯室

6. センター周辺地図

交通:

- JR「名古屋駅」より地下鉄東山線藤ヶ丘行「一杜駅」下車: 徒歩 10 分



筑波インターナショナルセンター

Tsukuba International Centre (TBIC)

1. 所在地

〒305 茨城県つくば市高野台3-6-2
(～5)

TEL. 0298-38-1111 (代表)

FAX. 0298-38-1119



2. 沿革および特色

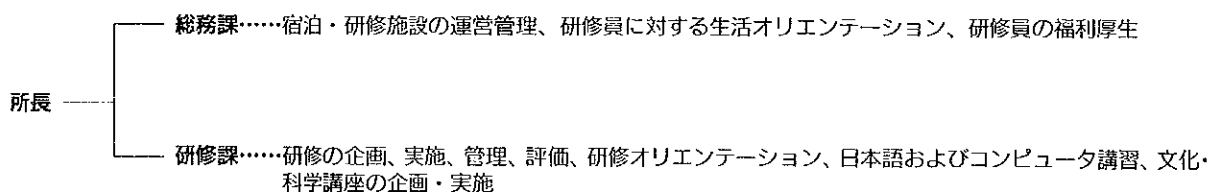
本センターは、昭和55年3月、国の試験・研究・教育機関が首都圏から筑波研究学園都市へ移転されたことに伴い、筑波における当事業団の研修員のための研修と生活の拠点として設立されました。

本センターは、開発途上国から年間約550名の研修員を受け入れ、上記の諸機関の協力を得て技術研修を行っています。

研修の内容は機械、化学、土木建築、地質、生物等多岐にわたり17の集団研修コースと約100件の個別研修、さらに夜間には日本語、コンピュータ、日本文化等の特別講座を実施しています。

また、本センターは、これらの研修員のほか、本センターに隣接する筑波国際農業研修センターの研修員の宿泊関係業務も行っています。

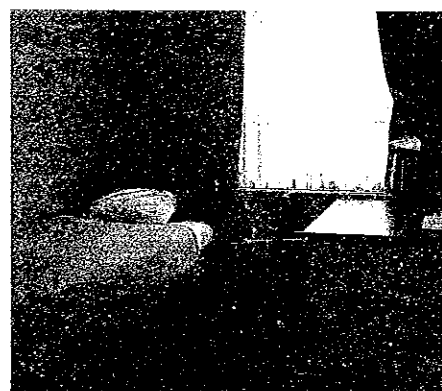
3. 組織



4. 施設



食堂



シングルルーム

1) 建物規模

宿泊棟：鉄筋コンクリート 5 階建
 管理研修棟：鉄筋コンクリート 3 階建
 体育館：鉄筋コンクリート（一部鉄骨造り）
 敷地面積 20,403㎡
 建築面積 3,500㎡ 延床面積10,145㎡

2) 宿泊可能人員 200名

シングルルーム（15.85㎡）190室、

ツインルーム（31.70㎡）5室、（各室バス・トイレ・電話付）

3) 研修施設

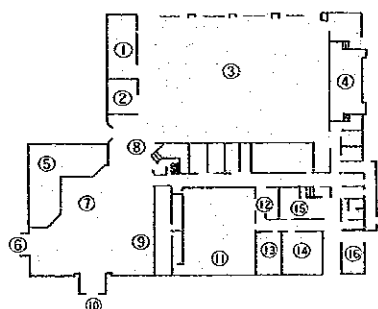
教室 7 室（視聴覚室、コンピュータ室を含む）、会議室 2 室

4) その他

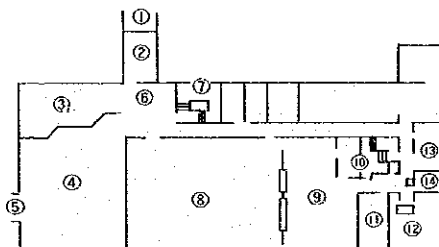
フロント、ロビー、ラウンジ、食堂、音楽室、ビデオルーム、体育館、テニスコート、プール

5. センター案内図

管理・研修棟 1F



管理・研修棟 2F



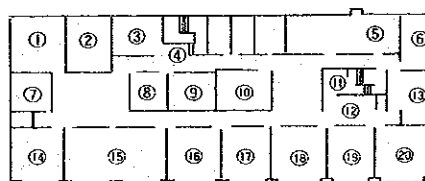
管理・研修棟 1F

①撞球室 ②器材庫
 ③体育館 ④ステージ
 ⑤ロビー ⑥渡廊下
 ⑦ホール ⑧階段
 ⑨フロント ⑩玄関
 ⑪事務室 ⑫コピー室
 ⑬所長室 ⑭応接室
 ⑮階段 ⑯守衛室

管理・研修棟 2F

①機械室 ②音楽室
 ③（吹抜）④ラウンジ
 ⑤渡廊下
 ⑥自動販売機コーナー
 ⑦階段 ⑧食堂
 ⑨厨房 ⑩階段
 ⑪職員食堂
 ⑫宿直室
 ⑬管理事務室
 ⑭厨房事務室

管理・研修棟 3F



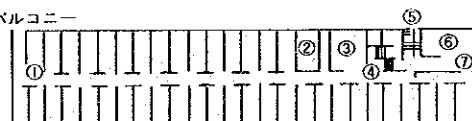
管理・研修棟 3F

①セミナー室（7）
 （視聴覚室）
 ②中庭（B）
 ③ビデオルーム
 ④階段
 ⑤セミナー室（8）
 ⑥日本語 ⑦教材室
 ⑧会議室（2）
 ⑨中庭（A）
 ⑩会議室（1）
 ⑪階段 ⑫湯沸室
 ⑬講師控室 ⑭研修監理員室
 ⑮セミナー室（6）
 ⑯セミナー室（5）
 ⑰セミナー室（4）
 ⑱セミナー室（3）
 ⑲セミナー室（2）
 ⑳セミナー室（1）
 （コンピュータ室）

宿泊棟 1F

（2F～5Fのレイアウトも同じ）

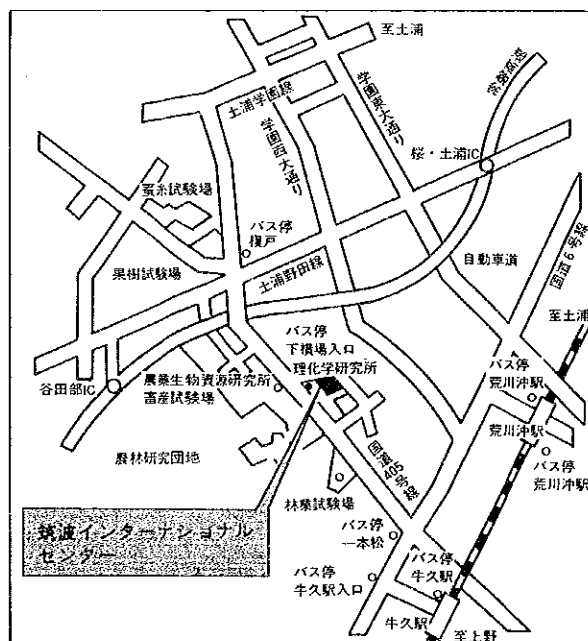
バルコニー



6. センター周辺地図

交通：

■JR常磐線「牛久駅」または「荒川沖駅」下車、車で約10～15分



宿泊棟 1F

①階段 ②洗濯室
 ③リネン室 ④階段
 ⑤渡廊下 ⑥湯沸室
 ⑦エレベーター

筑波国際農業研修センター

Tsukuba International Agricultural Training Centre (TIATC)



1. 所在地

〒305 茨城県つくば市高野台 3-7

TEL. 0298-38-1771 (代表)

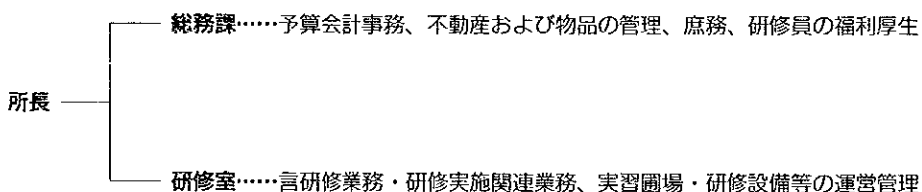
FAX. 0298-38-1776

2. 沿革および特色

本センターは、昭和36年に茨城県内原町に「茨城国際農業研修会館」として設立されて以来、昭和45年に内原国際農業研修センターに改称、その後昭和56年に国の試験研究機関に隣接した現在地に移転しました。過去30余年間の帰国研修員数は約90カ国2,000名に達します。

本センターは、農業分野の専門研修センターとして、技術研修スタッフならびに実験施設・圃場を保有し、作物栽培・農業工学分野の集団研修コースをセンター内で実施しており、さらには農業分野の国別特設コース、委託型集団コースおよび個別研修員の受け入れ業務を行っています。

3. 組織



4. 施設



温室



図書館棟

1) 建物規模 (場内)

敷地面積 19,542㎡
鉄筋コンクリート3階建
建築面積 989㎡ 延床面積 2,988㎡
研修施設
教室7室 実験室5室 図書情報室 講堂
コンピュータ実習室 付属施設
実験棟4棟 温室網室等17棟 延床面積 6,546㎡

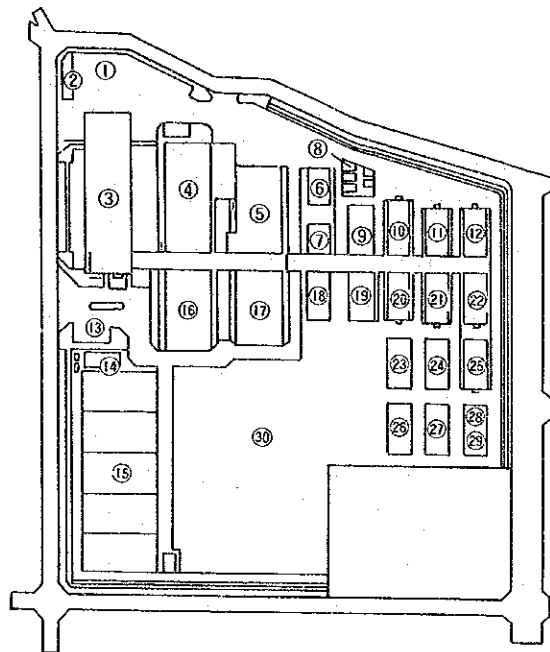
2) 建物規模 (場外施設)

敷地面積 11,216㎡
鉄筋平屋建 実習棟網室等 9棟
延床面積 1,630㎡

3) 実習圃場

水田 (場内2,100㎡ 場外36,188㎡)
畑 (場内6,300㎡ 場外47,817㎡)

5. センター案内図

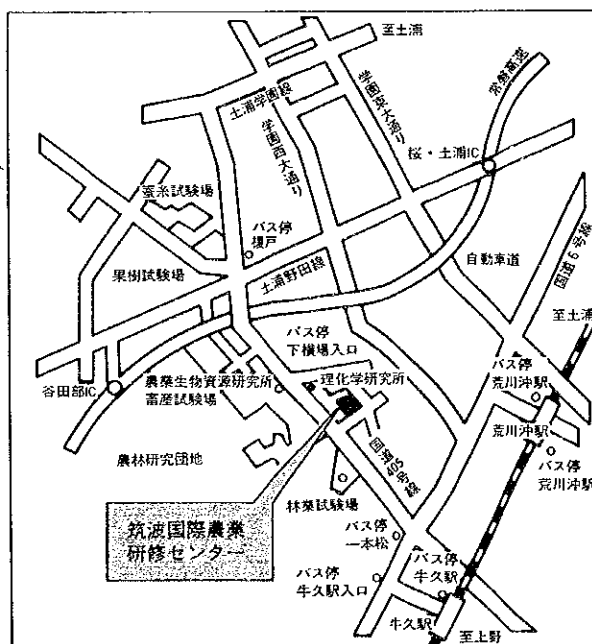


- ①駐車場
- ②自転車置き場
- ③研修本館
- ④灌漑排水実験棟
- ⑤稲作機械実習棟
- ⑥トラクター実験棟
- ⑦農具資材棟
- ⑧環境制御室
- ⑨温室No. 7
- ⑩温室No. 1
- ⑪温室No. 2
- ⑫網室No. 2
- ⑬駐車場
- ⑭貯水池
- ⑮実験水田
- ⑯野菜作業棟
- ⑰稲作作業棟
- ⑱農業機械庫
- ⑲堆肥舎
- ⑳網室No. 1
- ㉑育苗温室
- ㉒温室No. 3
- ㉓網室No. 3
- ㉔温室No. 5
- ㉕温室No. 4
- ㉖網室No. 4
- ㉗温室No. 6
- ㉘世代促進温室
- ㉙病理温室
- ㉚実験畑

6. センター周辺地図

交通：

■JR常磐線「牛久駅」または
「荒川沖駅」下車、車で約10～15分



神奈川国際水産研修センター

Kanagawa International Fisheries Training Centre (KIFTC)

1. 所在地

〒238-03 神奈川県横須賀市長井

5-25-1

TEL. 0468-57-2251 (代表)

FAX. 0468-57-2254



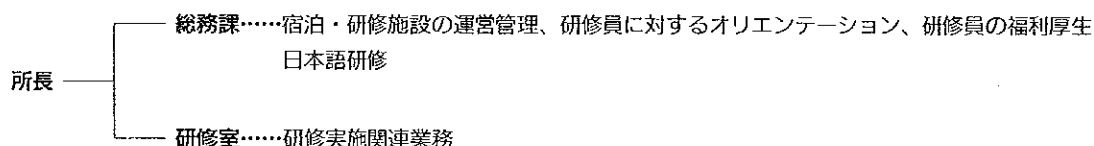
2. 沿革および特色

本センターは、当事業団の前身のひとつであった(社)アジア協会により昭和36年に設立された三崎国際水産研修会館(神奈川県三浦市諏訪町)に始まり、研修員受入要請が多様化してきたことに対応するため、当事業団設立前の海外技術協力事業団時代の昭和49年4月、神奈川国際水産研修センターと改称し、現在地に移転・拡充されました。

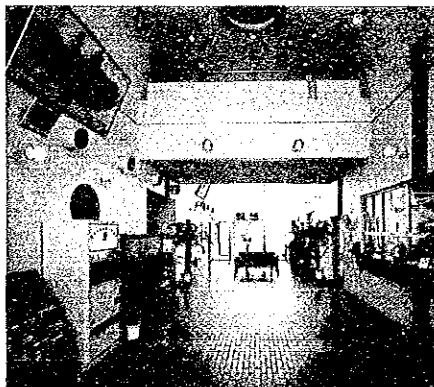
本センターは、設立当時より、水産試験場、地元の漁業協同組合等の協力を得て、本センターにおいて研修員に対し直接指導を行う体制をとり、主として沿岸漁業技術コース等集団コースを中心に実施してきましたが、開発途上国のニーズに応えながら徐々にコース数も増加し、現在は8コースを実施しています。また平成6年度からは水産分野の個別研修員の受入れに関し、本部から本センターへ全面的な業務移管が実施されることになりました。

平成6年3月末までに本センターは、約100カ国1,234名の研修員を受け入れています。

3. 組織



4. 施設



フロント



練習船

1) 建物規模

鉄筋コンクリート 4階建

敷地面積 3,069m²

建築面積 1,196m² 延床面積 2,729m²

2) 宿泊可能人員 33名

シングルルーム (9.72㎡) 33室、各階シャワー・トイレ共同

3) 研修施設

講堂、教室 3 室、漁具製作室、書庫

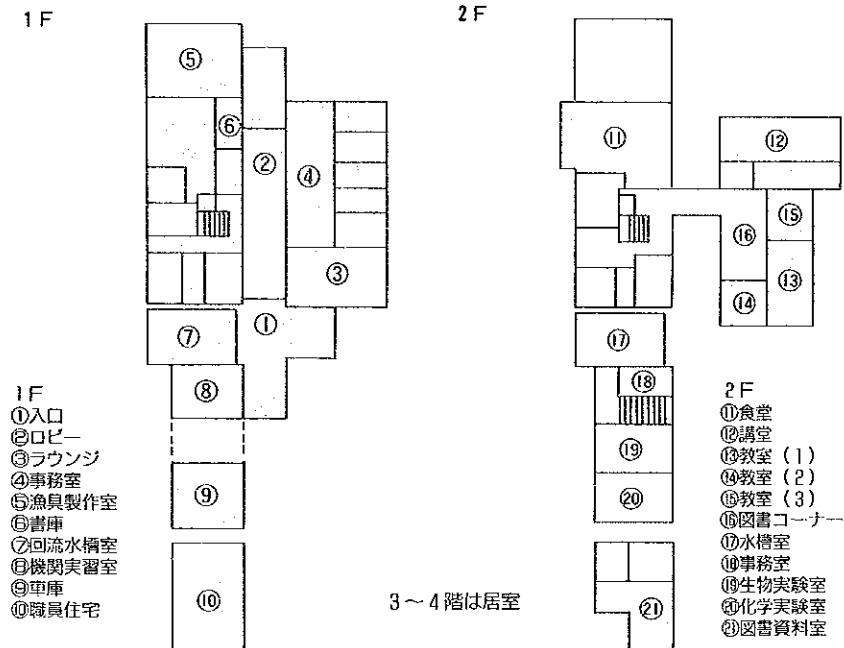
4) 付属施設

養殖實習室、機関實習室、図書資料室、漁具倉庫、
実習船2隻 (20t、5 t)

5) その他

ロビー、ラウンジ、食堂、図書コーナー

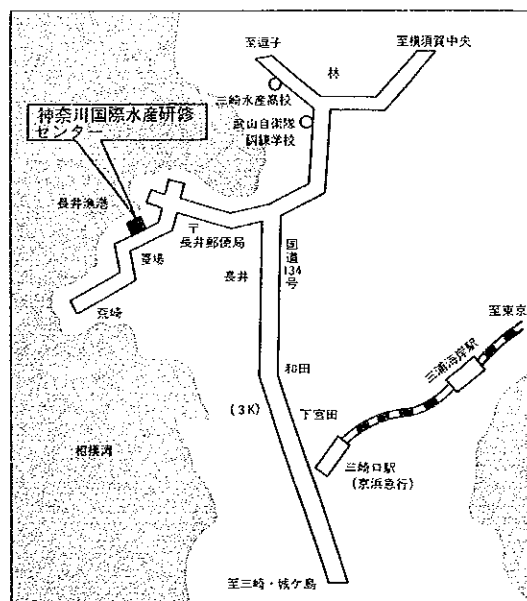
5. センター案内図



6. センター周辺地図

交通：

■JR京浜急行「三崎口駅」より京浜急行バス
荒崎行番場下車（徒歩1分）



兵庫インターナショナルセンター

Hyogo International Centre (HIC)

1. 所在地

〒654 兵庫県神戸市須磨区一ノ谷町
4-5-10
TEL. 078-734-5175 (代表)
FAX. 078-732-3163



2. 沿革および特色

本センターは、昭和48年8月、当事業団の前身の海外技術協力事業団および兵庫県により、阪神地域等における研修コースの増加に対応し、さらに兵庫県のバックアップによる国際交流促進の拠点として設立されました。

本センターの特色は、

- 1) 上記のように、地方公共団体の協力を得て施設の運営管理を行っている関係上、地元国際交流関係者の利用が活発であること。
- 2) 神戸港を身近に控え、輸出入食品検査、貿易実務担当者等の研修の場として最適であること、などとなっています。

3. 組織

所長 ——— 研修課……研修実施関連業務、研修員に対するオリエンテーション、日本語研修、研修員の福利厚生

なお、本センターの宿泊、運営業務は、(財)兵庫県国際交流協会に委託実施している関係上、国際協力事業団の固有の総務業務は研修課が実施しています。

4. 施設



シングルルーム

1) 建物規模

鉄筋コンクリート 5階建
敷地面積 3,729㎡
建築面積 1,255㎡ 延床面積 4,301㎡

2) 宿泊可能人員 78名

シングルルーム (15.00㎡) 66室、

ツインルーム (38.20㎡) 4室、特別室2室、和室1室、
(各室バス・トイレ付)

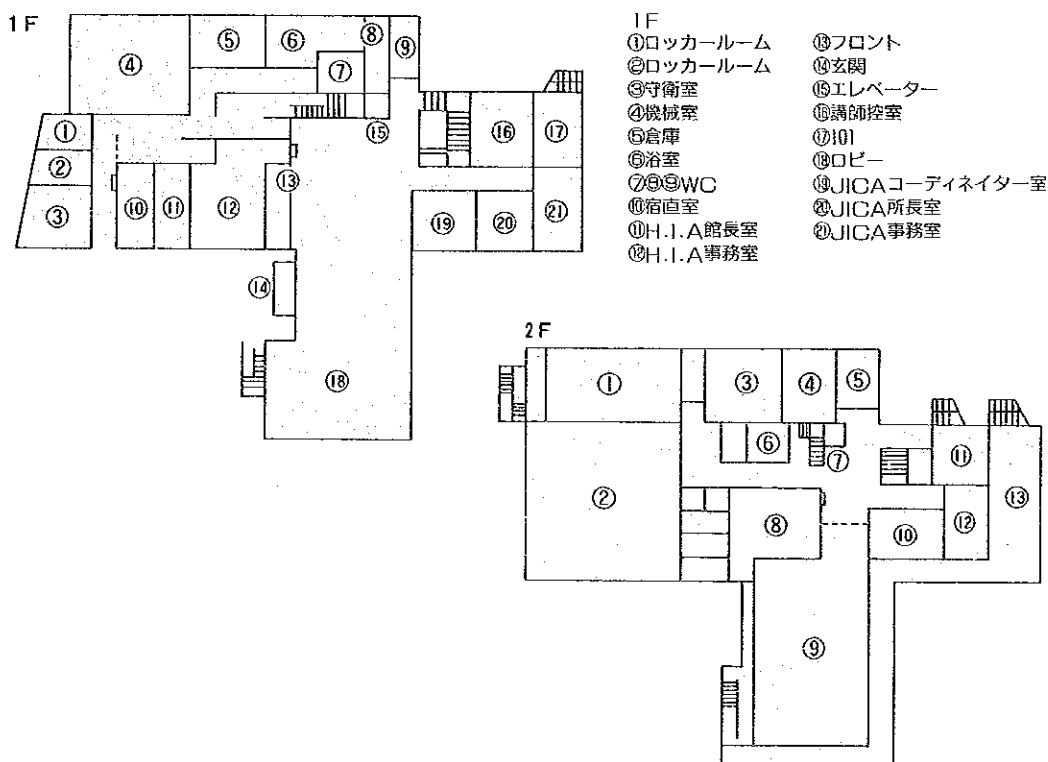
3) 研修施設

教室4室、講堂、タイプ室

4) その他

フロント、ロビー、食堂、研修監理員控室、洗濯室

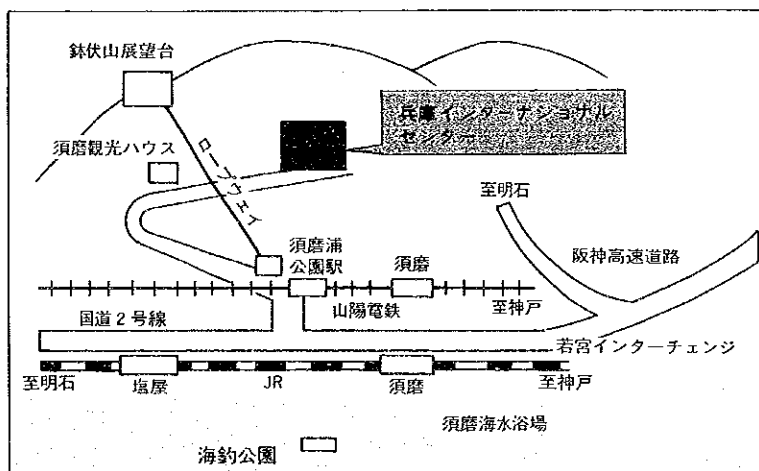
5. センター案内図



6. センター周辺地図

交通：

■JR「須磨駅」：徒歩25分、
山陽電鉄「須磨浦公園駅」：徒歩7分



九州国際センター

Kyushu International Centre (KIC)

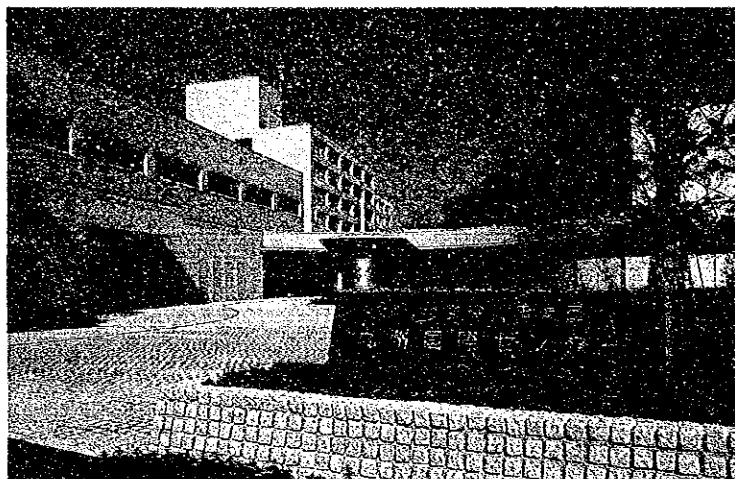
1. 所在地

〒805 福岡県北九州市八幡東区平野

2-2-1

TEL. 093-671-6311 (代表)

FAX. 093-671-0979

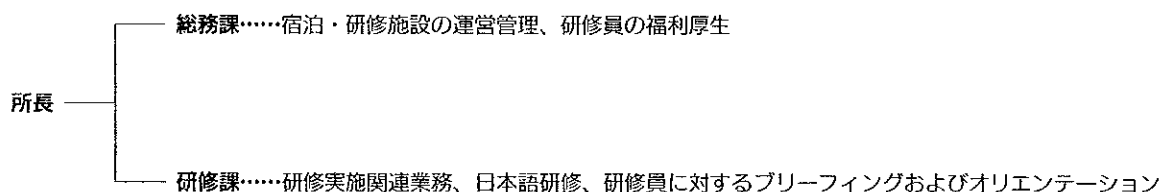


2. 沿革および特色

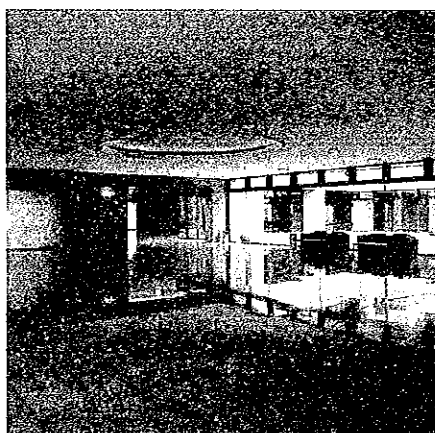
本センターは、開発途上国からの増大する産業技術分野の研修員受入の要請に応え、その受入体制の整備強化を図るとともに国際交流への関心が強い北九州市をはじめとする地元関係団体の熱意ある誘致に呼応し、平成元年10月、11番目の国際研修センターとして設置されました。

本センターでは、北九州地域の産・官・学協力のもとで同地域の特徴を活かした研修事業（例えば、プラントメンテナンス、自動制御、設備診断等のコース）を効率的に実施するため、センター内に技術実習室、パソコンルーム等を設けております。

3. 組織



4. 施設



ロビー



食堂

1) 建物規模

管理研修棟：鉄筋コンクリート地上3階、地下1階

宿泊棟：鉄筋コンクリート地上6階

講堂兼体育館：鉄筋コンクリート地上1階

敷地面積：13,000㎡

建築面積：4,330㎡ 延床面積：10,790㎡

2) 宿泊可能人員 150名

シングルルーム(18㎡)140室、ツインルーム(33㎡)5室

(各室ユニットバス・トイレ付)

3) 研修施設

セミナールーム(13室)、技術実習室(3室)

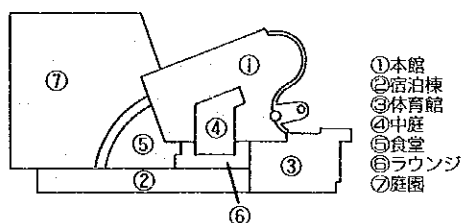
パソコンルーム(2室)、オリエンテーションルーム、図書室等

4) その他

食堂、ロビー、ラウンジ、オーディオルーム、テニスコート、体育館、和室等

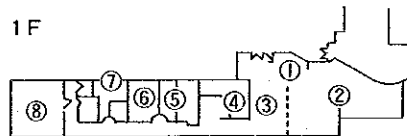
5. センター案内図

建物配置図



- ①本館
- ②宿泊棟
- ③体育館
- ④中庭
- ⑤食堂
- ⑥ラウンジ
- ⑦庭園

1 F

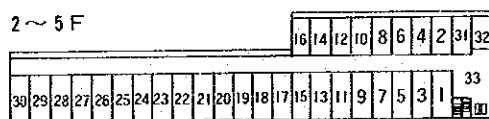


1 F

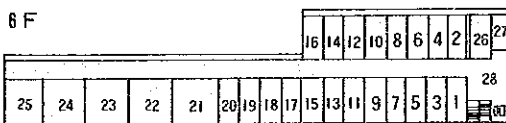
- ①喫茶コーナー
- ②談話コーナー
- ③ビリヤードコーナー
- ④売店
- ⑤ビデオルーム
- ⑥オーディオルーム
- ⑦健康相談室
- ⑧和室

宿泊棟

2～5 F



6 F



宿泊棟

2～5 F

- ①～⑭シングルルーム
- ⑮リネン室
- ⑯洗濯室
- ⑰ラウンジ

- 6 F
- ①～⑭シングルルーム
- ⑮～⑰ツインルーム
- ⑱リネン室
- ⑲洗濯室
- ⑳ラウンジ

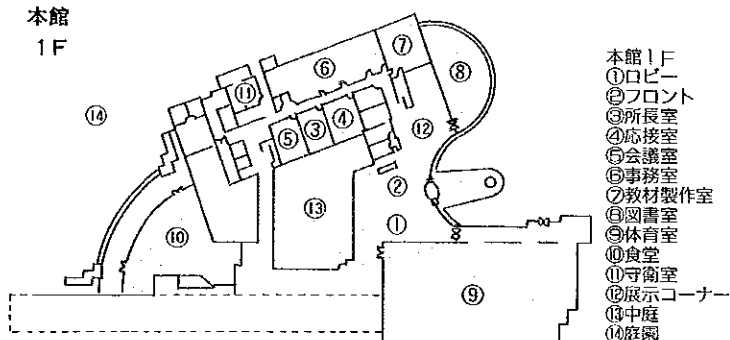
6. センター周辺地図

交通：

■JR「八幡駅」徒歩10分

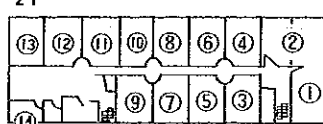
本館

1 F



- 本館1 F
- ①ロビー
- ②フロント
- ③所長室
- ④応接室
- ⑤会議室
- ⑥事務室
- ⑦教材製作室
- ⑧図書室
- ⑨体育室
- ⑩食堂
- ⑪守衛室
- ⑫展示コーナー
- ⑬中庭
- ⑭庭園

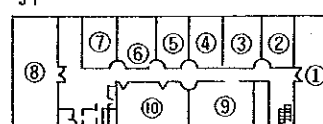
2 F



2 F

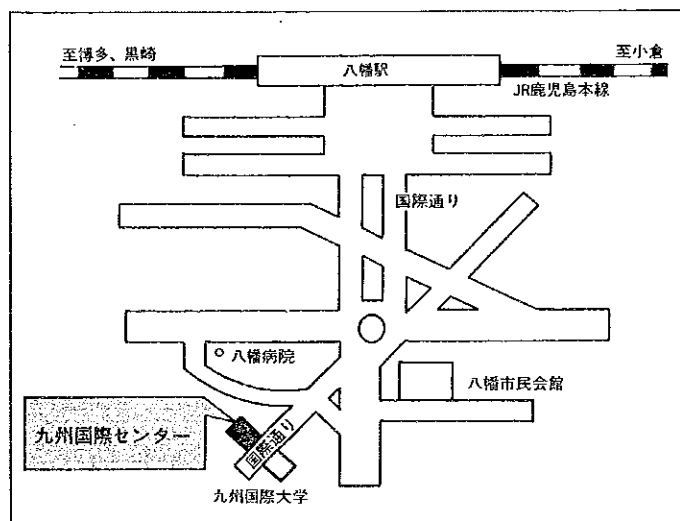
- ①研修監理員室
- ②講師室
- ③セミナールーム
- ④セミナールーム
- ⑤セミナールーム
- ⑥セミナールーム
- ⑦セミナールーム
- ⑧セミナールーム
- ⑨セミナールーム
- ⑩セミナールーム
- ⑪セミナールーム
- ⑫日本語講師室

3 F



3 F

- ①⑨⑩実習室
- ⑪コンピュータールーム
- ⑫インストラクタールーム
- ⑬展示資料室
- ⑭セミナールーム
- ⑮セミナールーム
- ⑯オリエンテーションルーム



沖縄国際センター

Okinawa International Centre (OIC)



1. 所在地

〒901-21 沖縄県浦添市前田1143-1

TEL. 098-876-6000 (代表)

FAX. 098-876-6014

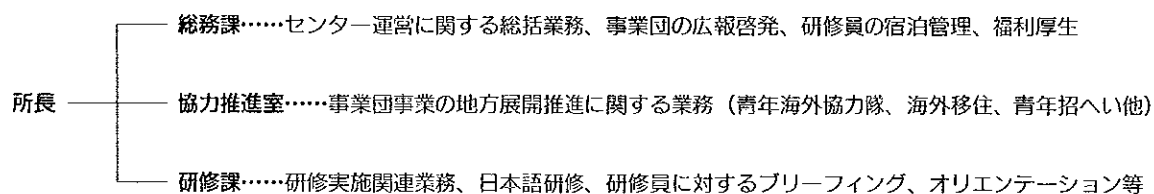
2. 沿革および特色

本センターは、昭和56年1月、アセアン諸国を歴訪した鈴木元総理の提唱による「アセアン人造り構想」の一環として、アセアン諸国と多くの共通点を有している沖縄県に設立されることとなり、昭和60年4月に開所しました。

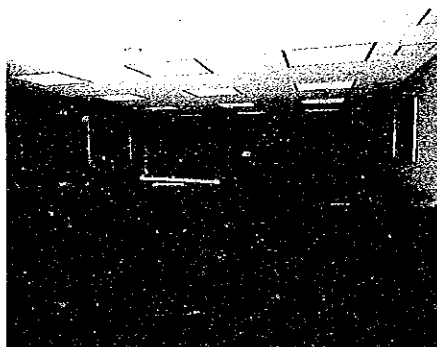
当センターは、大型コンピュータや視聴覚機器など最新の設備を備えており、情報処理要員養成コースをはじめ視聴覚技術コースや日本語コースを実施するほか、沖縄の特性を活かした特長ある研修コースを実施しています。

また、平成4年4月には当事業団沖縄支部との合併により、青年海外協力隊事業、青年招聘事業等、従来同支部が実施してきた事業を継承することとなり、当事業団全般の地方展開の拠点としての役割を担っています。

3. 組織



4. 施設



オリエンテーションルーム



コンピュータ研修室

- 1) 建物規模
本館：鉄筋コンクリート 3階建
厚生棟 2階建
宿泊棟 3階建
日本語研修棟 2階建
その他：体育館等
敷地面積 33,000㎡
建築面積 5,201㎡ 延床面積 10,100㎡
- 2) 宿泊可能人員 110名

シングルルーム (15.5㎡) 90室 ツインルーム (30㎡)
10室 (各室ユニットバス・トイレ付)

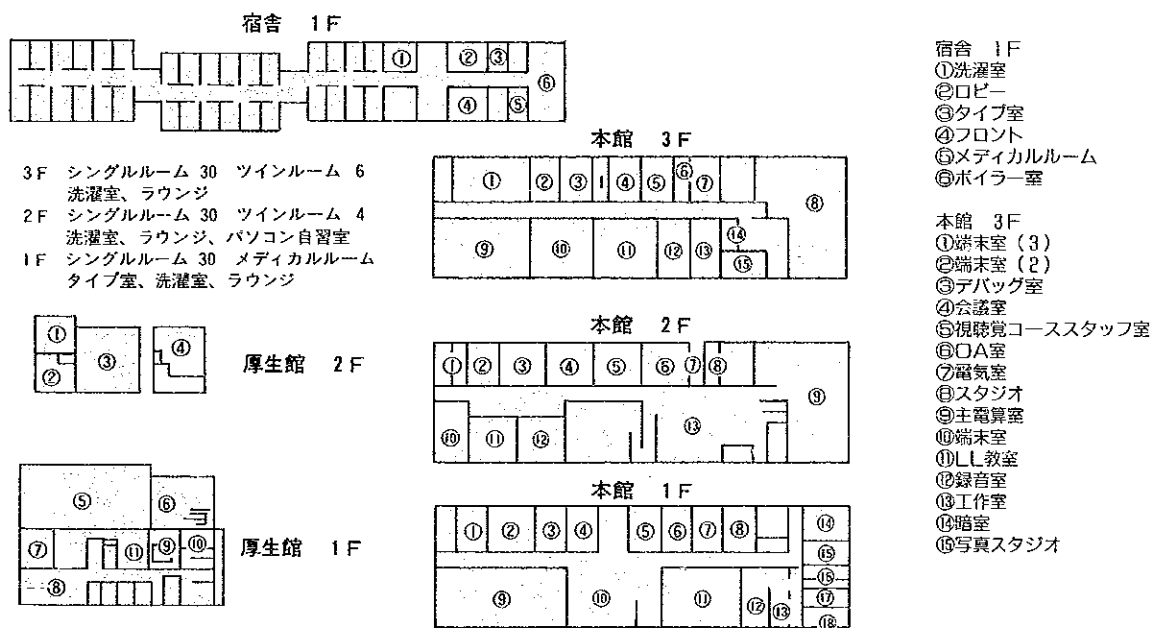
3) 研修施設

セミナールーム、LL教室、コンピュータ研修室、視聴覚研修室、図書室、オリエンテーションルーム、パソコン自習室他

4) その他

ロビー、ラウンジ、オーディオルーム、テニスコート、
プール、グラウンド、体育館、和室他

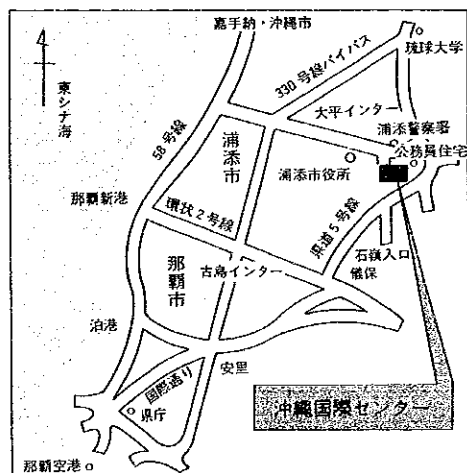
5. センター案内図



6. センター周辺地図

交通：

■那覇空港より車で約 40～50 分



本館 2F
①倉庫
②セミナー室4
③セミナー室3
④セミナー室2
⑤セミナー室1 (B)
⑥セミナー室1 (A)
⑦タイプ室
⑧電気室
⑨図書室
⑩セミナー室7
⑪セミナー室5
⑫セミナー室6
⑬ラウンジ

本館 1F

- ①倉庫
- ②会議室
- ③応接室
- ④フロント
- ⑤所長応接室
- ⑥所長室
- ⑦スタッフルーム
- ⑧会議室
- ⑨オリエンテーションルーム
- ⑩ロビー
- ⑪事務所
- ⑫スタッフルーム
- ⑬倉庫
- ⑭情報処理要員養成コース
スタッフルーム
- ⑮倉庫
- ⑯ロッカー室
- ⑰休養室
- ⑱保安要員室

厚生館 2F
①オーディオルーム
②ビデオルーム
③スポーツ室
④和室

厚生館 1F
⑤食堂A
⑥ホール
⑦食堂B
⑧厨房
⑨売店
⑩ラウンジ
⑪従業員食堂

■センター・支部所管別

研修員ブリーフィング・オリエンテーション・日本語集中講座実施場所 (基本パターン)

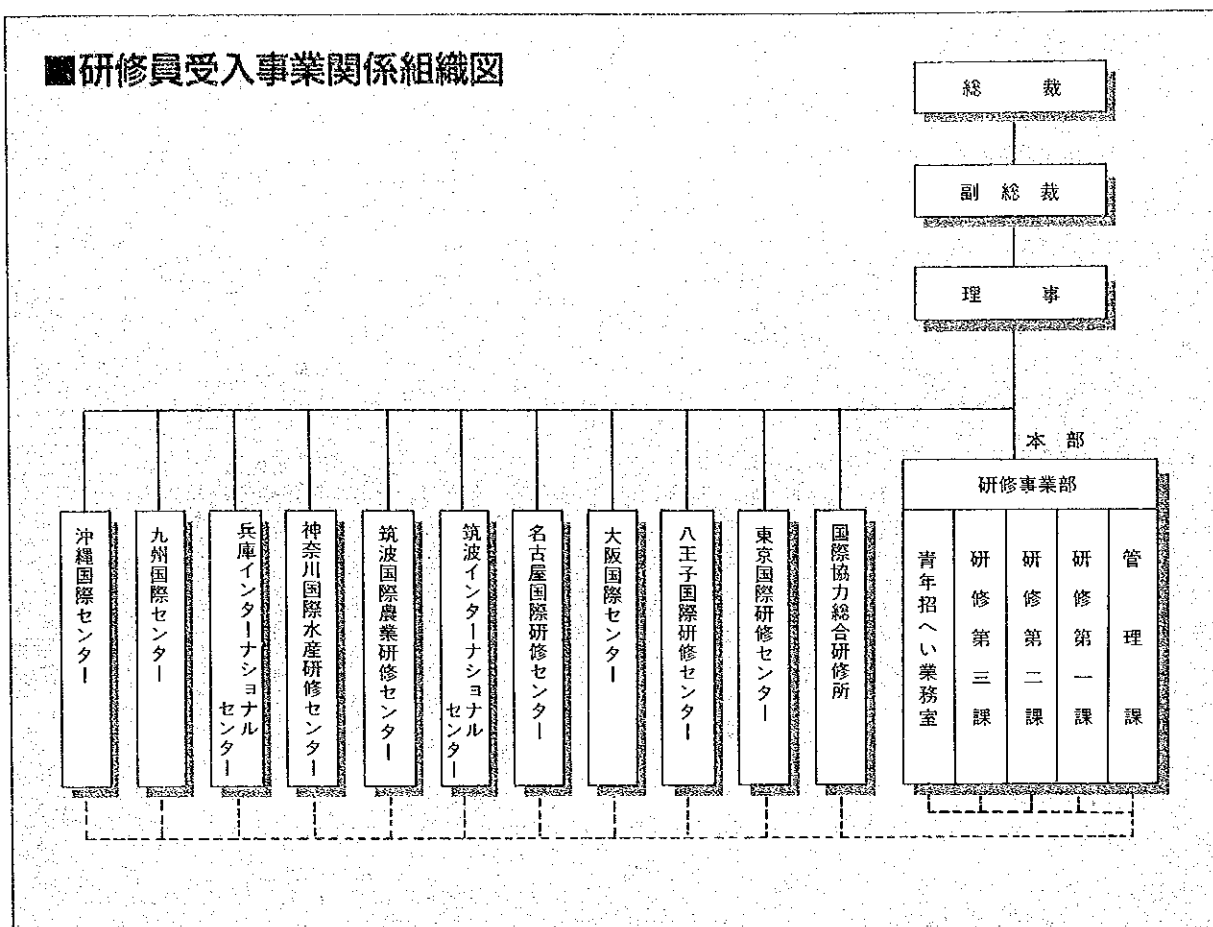
研修事業の均衡のとれた地方展開を図るため、平成6年度においては、大阪国際センターの機能拡充および関西国際空港の開港に
合わせ、研修員のブリーフィング、オリエンテーションおよび日本語研修の実施場所を次のとおりとし、試行的に実施しています。

* ブルーの部分が大阪国際センターで実施する部分となります。

所管 センター・ 支部	来日 空港	研 修 形 態				帰国 空港	
		集団・一般特設	集団・一般特設 (日本語集中付)	個別（高級・準 高級を除く）	個別（日本語 集中付）		
TIC	成田	TICで実施				(大阪セで実施)	成田
神水セ	成田	日本語は原則的に 神水セで実施					成田
国総研	成田	ブリーフィングは国総研で実施 オリエンテーションは主にTICで実施(一部国総研で実施)					成田
八王子セ	成田	八王子セで実施			一部TICで実施		成田
筑波セ	成田	筑波セで実施					成田
筑農セ	成田						成田
名古屋セ	成田	ブリーフィングはTIC(準高のみ国総研)で実施 オリエンテーションと日本語は名古屋セで実施			ブリーフィングはTIC オリエンテーションと 日本語は名古屋セ		成田
大阪セ	関西 成田	大阪セで実施					関西 成田
兵庫セ	関西 成田	日本語は原則的に 兵庫セで実施					関西 成田
九州セ	成田	九州セで実施			一部TICで実施		福岡 成田
沖縄セ	成田	沖縄セで実施			一部TICで実施		沖縄 成田
北海道支部	成田	TICで実施			TICで実施		成田
東北支部	成田						成田
北陸支部	成田	(大阪セで実施)					成田
中国支部	関西 成田						関西 成田
四国支部	関西 成田					関西 成田	

【略称】・TIC=東京国際研修センター・神水セ=神奈川県水産研修センター・国総研=国際協力総合研修所・八王子セ=八王子国際研修センター・筑波セ=筑波国際研修センター・筑農セ=筑波国際農業研修センター・名古屋セ=名古屋国際研修センター・大阪セ=大阪国際センター・兵庫セ=兵庫国際研修センター・九州セ=九州国際研修センター・沖縄セ=沖縄国際研修センター

■研修員受入事業関係組織図



■国際研修センターの規模一覧

セ ン タ ー 名	部 屋 数			ベッド数 (ベッド)	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	コ ー ス 数 (平成6年度)			開 所 年 (年月)
	(S)	(T)	(計)				集団	特設	計	
国際協力総合研修所 IFIC	60	10	70	80	3,892	11,303	9	11	20	昭和63.1
東京国際研修センター TIC	435	12	※448	460	10,013	18,868	114	25	139	昭和60.6
八王子国際研修センター HITC	94	3	97	100	5,240	5,294 (別館)537	25	5	35	昭和51.6
大阪国際センター OSIC	280	10	290	300	11,739	16,468	20	21	41	平成6.10
名古屋国際研修センター NITC	92	3	95	98	3,305	3,768	20	5	25	昭和46.3
筑波インターナショナルセンター TBIC	190	5	195	200	20,403	10,145	14	3	17	昭和55.3
筑波国際農業研修センター TIATC	—	—	—	—	園場除く 30,759	11,168	11	0	11	昭和56.4
神奈川国際水産研修センター KIFTC	33	0	33	33	3,069	2,729	8	0	8	昭和49.4
兵庫インターナショナルセンター HIC	66	6	72	78	3,729	4,301	10	0	11	昭和48.8
九州国際センター KIC	140	5	145	150	13,000	10,790	31	3	34	平成元.10
沖縄国際センター OIC	90	10	100	110	33,000	10,790	24	0	24	昭和60.4
合 計	1,480	64	1,545	1,609	138,149	105,624	286	73	365	

※他に身障者専用居室が1室



**国際協力事業団
研修事業部**

〒163-04 東京都新宿区西新宿 2 丁目 1 番 1 号新宿三井ビル内
TEL03-3346-5311(代)